

令和2年6月10日

保護者 様

倉敷市立呉妹小学校

校長 平松 雅幸

「新しい生活様式」踏まえた御家庭での取り組みについて（お願い）

初夏の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御健勝のことと思います。また、平素より、本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症対策としての臨時休業の後、学校が本格的に再開され、保護者の皆様には、児童の健康管理にご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

今後の学校の教育活動を実施するに当たり、感染リスクはゼロにはならないということを前提として、児童の感染リスクをできる限り低減するよう、新型コロナウイルス感染症対策専門家会議において提言された「新しい生活様式」を踏まえ、学校でも感染症対策を講じているところです。

学校内での感染拡大を防ぐためには、学校と家庭の連携が必要なため、下記の通り御家庭の協力を仰ぐよう、文部科学省から通知がありました。児童が安心・安全な学校生活が送れますようご協力をお願いいたします。裏面には、文部科学省が提言された「新しい生活様式」を踏まえた家庭での取組を掲載しておりますので、ご確認の上、引き続き取り組みをお願いいたします。

記

- 1 御家庭全体で「新しい生活様式」を実践していただき、感染症対策に取り組んでいただくようお願いいたします。
 - ・学校生活の中でいかに感染防止を徹底しても、仲の良い友人同士の家庭間の行き来や、家族ぐるみの交流を通じて感染が拡大してしまうと、学校全体の教育活動ができなくなってしまうこともあります。特に会食の際には対面を避けるなど、「新しい生活様式」を参考にして工夫いただき、学校の外でも感染が広がらないように御配慮をお願いいたします。
- 2 学校での集団感染を防ぐために、お子様の登校を控えるべき場合について御理解いただき、御家庭においても御協力いただくようお願いいたします。
 - ・毎日、登校前にお子様の健康観察（発熱等の風邪症状の有無の確認）をお願いいたします。
 - ・感染がまん延している地域においては、学校からの依頼に基づき、同居の御家族に発熱等の風邪症状が見られる場合にも、お子様の登校を控えるようお願いいたします。

保護者の皆様へ

新型コロナウイルス感染症対策

～「新しい生活様式」を踏まえた家庭での取組～

新型コロナウイルス感染症から子供たちを守り、お子様が安心・安全な学校生活を送ることが出来るよう、ご家庭においても「新しい生活様式」を踏まえた取組にご協力をお願いします。

1 毎日の健康観察

- ・毎日、登校前にお子様の健康観察（発熱や風邪症状の有無の確認）を必ず行う。
- ・発熱等の症状がある場合は、自宅で休養させる。
- ・感染がまん延している地域は、学校からの依頼に基づき、同居のご家族に発熱等の風邪症状がみられる場合には、登校を控える。

2 手洗いの励行

- ・家に帰ったらまず手や顔を洗う。
- ・手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う。（手指消毒薬の使用も可）



3 咳エチケットの徹底

- ・咳、くしゃみをする際、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻をおさえる。



4 3密の回避（密閉、密集、密接）

人と集まる時や外出する際は、次のことに気を付けてください。

○「密閉」の回避

・こまめな換気

気候上可能な限り常時行い、困難な場合はこまめに（30分に1回以上、数分程度、窓を全開する）、2方向の窓を同時に開けて行う。

○「密集」の回避

・身体的距離の確保

飛沫感染を防ぐため、できるだけ人と人との距離を確保すること。

○「密接」の回避

・マスクの着用

外出する時は、できるだけマスクを着用する。ただし、気温や湿度が高く、気分が悪い場合や、熱中症になりそうな場合には、マスクを外す。

室内でも家族以外の人と交流する際はマスクを着用する。



5 抵抗力を高める

免疫力を高めるため、十分な睡眠、適度な運動やバランスの取れた食事を心がける。



- ★ 学校生活の中でいかに感染防止を徹底しても、仲の良い友人同士の家庭間の行き来や家族ぐるみの交流を通じて感染が拡大してしまうと、学校全体の教育活動が出来なくなってしまうことがあります。特に会食の際には、対面を避けるなど、「新しい生活様式」を参考にして工夫していただき、感染が広がらないようにご配慮をお願いします。